



社協だより

shakyo information

VOL. 101

編集・発行 社会福祉法人 袖ヶ浦市社会福祉協議会

HP <http://www.sodegaura-shakyo.jp>

ボランティア情報専用携帯サイト

<http://www.sodegaura-shakyo.jp/mobile/>



〒299-0256 千葉県袖ヶ浦市飯富1604 袖ヶ浦市社会福祉センター内(袖ヶ浦公園前)
☎0438-63-3888 ☎0438-63-0825

たくさんのご寄附を ありがとうございました

みなさまの善意を大切に、
社会福祉協議会事業に役立させていただきます。

期間：平成23年2月～3月(順不同)

企業・団体・氏名(敬称略)	金額(円)
袖ヶ浦ワークスリサイクル会	200,000
(有)黒田不動産鑑定事務所	50,000
ライオンズクラブ	50,000
袖ヶ浦市職員会KFGC会	9,800
がうらエコネット	3,780
匿名(4件)	56,730

金婚式

結婚50周年を迎えるご夫婦をお祝いし、
記念品を進呈します。

本年度の対象は、昭和36年9月1日から昭和37年8月31日に婚姻され、ご夫婦ともに健在で市内に居住している方(昭和36年9月1日以前に婚姻され金婚祝品進呈を受けていない方も対象)です。

該当する方は、8月12日までに社会福祉協議会まで戸籍謄本(発行から3カ月以内)とご夫婦の氏名(ふりがな)、現住所、電話番号を書面にて持参または郵送ください。

記念品は、各地区の敬老会の会場で進呈します。

申込・問合せ 社会福祉協議会
〒299-0256 袖ヶ浦市飯富1604
☎63-3888

地域福祉のために 会費の協力をお願いします

社会福祉協議会(社協)は、地域のみなさまと相互に協力しあい、子どもからお年寄りまで、住み慣れた地域で充実した生活を送ることができるよう、様々な福祉サービスを行っている団体です。

事業を行う費用は、みなさまからの寄付金、赤い羽根共同募金配分金、補助金、委託金に加え、現在、市政協力員(区長、分区長、自治会長)を通じてお願いしている会費を財源としております。

より一層の地域福祉の充実のため会員としてご支援をお願いいたします。

会費

- ◇一般会員 一口500円
- ◇賛助会員*公務員の方のいる世帯 一口1,000円
- ◇特別賛助会員 *袖ヶ浦市職員で課長職以上の方のいる世帯等 一口2,500円
- ★賛助・特別賛助会員は対象者の方のご賛同を
いただいた方をお願いしています。
- ◇法人会員 一口10,000円
会費は社協窓口、市地域福祉課、長浦・平川行政センターでお預かりしています。

「千葉県社会福祉協議会と市町村社会福祉協議会における災害時の相互支援に関する協定」により、職員派遣要請があり3月20日21日の2日間旭市災害ボランティアセンター1運営業務に従事し、また同様に4月10日から16日まで福島県いわき市小名浜地区で被災された方へ当座の生活費を貸付する「生活福祉資金(緊急小口資金)特例貸付」業務に従事しました。

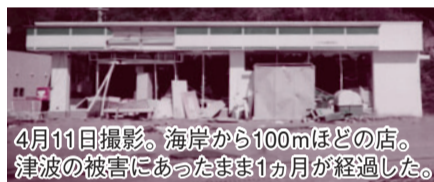
旭市では飯岡地区が津波により甚大な被害を受けており、第1波目の津波の後、自宅を確認に戻り多くの方が被害に遭われたとのこと。第2波目の津波は海岸沿いの住宅の2階部分まで達し、多くの住宅が流失しました。災害ボランティアセンターには休日2、000名近いボランティアが集まり、住宅等に流入した土砂等

の撤去や清掃に協力いただきました。小名浜地区は人口77,345人(世帯数3,011世帯)であり、いわき市内では平地区に次ぐ市街地が形成されており、臨海部には工業地帯が広がり工業と水産業に従事されている方が多い地域です。

震災後1カ月が過ぎても海沿いには瓦礫が未だ残っており、大きな船が打ち上げられている状況でした。相談に来られる方は、職場も被災し職を失った方(漁業関係者や中小企業の従業員)や高齢者世帯、ひとり親家庭の方が多く、今までの貯蓄を崩して生活していたが今後の生活に不安を抱えていました。津波などで家が流失や倒壊した方、福島第一原発のある双葉郡から避難して来られた方などもあり、小名浜地区では120件位/日の貸付がありました。

業務中にも余震が多く起こり、その度に不安な表情を浮かべる子どもや高齢者の姿が忘れられません。また地元社会福祉協議会職員の中には、家が津波で流され両親が行方不明になっている中業務をおこなっている職員もおり、地震後1カ月が過ぎて不眠不休に近い状態でした。最後に地元の方からいただいた言葉を紹介します。「今度は観光でいわき市に来てください。」

(事業第一係 手島 陽二)



4月11日撮影。海岸から100mほどの店。津波の被害にあつたまま1ヵ月が経過した。



もみの木台・滝ヶ沢地区 船越 光子

新任民生委員・児童委員紹介

4月1日付けで厚生労働大臣から委嘱を受け、平岡地区の次の地域で活動いたします。

ファミリーサポートセンター 入会説明会・基礎研修会

日時 5月19日(木)
●入会説明会 午前10時30分～11時30分
●基礎研修会(提供会員希望者) 午後1時～3時30分

場所 中央図書館 第1会議室

申込期限 5月18日(水)
※託児希望者はお相談ください。

申込・問合せ ファミリーサポートセンター
☎・FAX 64-3115

放課後児童クラブ 指導員募集

職種 放課後児童クラブ指導員
募集人数 3名
就労内容 小学校1年生～4年生の児童の保育
就労場所 三ツ作855-2(旧JA根形支店)
横田2211-1(旧JA中川支店)

時間 午前8時から午後7時の間の8時間以内
*通常は放課後(午後3時頃)～午後7時です。

賃金 850円/時 *規定により交通費の支給有り
条件 自力通勤のできる方

申込・問合せ 社会福祉協議会 ☎63-3888

平成23年度 袖ヶ浦市社会福祉協議会予算

社会福祉協議会は、地域福祉活動計画に基づく「市民皆が支えあい、一人ひとりが安心して健やかに暮らせるまち」を基本理念とし、市民誰もが地域の中で生涯にわたって自立し、安心して自由で個性豊かな生活ができる地域社会を実現するため各種事業の推進に努めてまいります。

収入		特別会計	
補助金及び受託金・助成金	165,630千円	社会福祉センター運営事業	3,568千円
共同募金配分金収入	9,273千円	地域支援事業	13,963千円
社会福祉協議会費	7,871千円	合計	255,498千円
事業収入	31,929千円		
寄付金収入	2,501千円		
その他収入	20,763千円		
小計	237,967千円		

支出		特別会計	
法人運営事業	98,015千円	福祉センター運営事業	3,568千円
地域福祉事業	4,938千円	地域支援事業	13,963千円
ボランティア活動振興事業	16,483千円	合計	255,498千円
共同募金配分金事業	10,154千円		

あつまれ ボランティア

袖ヶ浦市ボランティアセンター
イメージキャラクター「ゆりい」

No.138

ボランティア登録数
(平成23年4月1日現在)

- 個人ボランティア：184名
- 登録ボランティア団体：53団体
- (内 ボランティア連絡協議会加盟団体：24団体)

災害ボランティアの注意事項

- 1. 事前に情報収集を**
被災地では、県外からのボランティアを募集しているところもありますが、多くの災害ボランティアセンターで、募集範囲を「市内(県内)在住の方」などとしています。まずは現地の災害ボランティアセンター等のホームページで募集の有無、募集の範囲、参加方法、注意点など直近の情報を確認してください。
- 2. 自分の意思と責任で**
災害ボランティアは、ボランティア本人の自発的な意思と責任により参加することが基本です。また、家族の理解も大切です。
- 3. 必ず事前にボランティア保険に加入**
災害ボランティアに参加する場合は、前日までに居住地または出発地の社会福祉協議会でボランティア活動保険に加入してください。既にボランティア登録している方も天災プランへの加入が必要です。(申・問 袖ヶ浦市ボランティアセンター ☎63-3988)
- 4. 被災地の負担にならないよう自己完結で**
安全や健康については自分自身で管理しましょう。体調が悪ければ参加を中止することも肝心です。また、宿所、食料、道具、その他身の回りのものはボランティア自身が事前に用意し、携行してください。
- 5. 単独行動を避ける**
被災地に到着したら必ず災害ボランティアセンターを訪れ、ボランティア活動の登録を行ってください。現地受け入れ機関の指示に従って活動し、単独行動は避けましょう。
- 6. マナーある行動を**
被災した方々の気持ちやプライバシーに十分配慮し、マナーある行動と言葉づかいで活動に参加してください。
- 7. 無理をしない**
自分にできる範囲で活動し、休憩を心がけましょう。

「災害ボランティア・NPO活動サポート基金」助成事業

中央共同募金会では、東日本大震災の被災地等で活動するボランティアグループ、NPO法人、社会福祉法人、学校法人等の活動費を助成しています。詳しくはお問合せください。

社会福祉法人中央共同募金会
企画広報部(助成金担当)
☎03-3581-3846(代)
URL <http://akaihane.or.jp>

援助物資受入でボランティアが活躍!

4月15日(金)~21日(木)

市役所、長浦行政センター、平川行政センター

市が第2回目の援助物資の受入を実施し、ボランティア連絡協議会加盟団体や個人ボランティアが受付などを手伝いました。ご協力ありがとうございました。



東日本大震災 災害ボランティア体験談



小倉 秀剛さん
(明治学院大学3年生・百目木在住)

3月23日に旭市にて災害ボランティアに参加

◆活動内容
私は1人で旭市の災害ボランティアに参加してきました。

参加しました。活動に参加して、大震災についてテレビなどでしか見たことがありませんでしたが、実際に倒壊した家屋や町の風景を目の当たりにし、同じ千葉県でこんなことが起きたんだ...と実感しました。

◆活動のきっかけ
東日本大震災では多くの方が被害にあい、救援活動も盛んに行われています。被災犬の情報はわずかに流れてくるのみで、気がかりでした。そんな時にこの愛犬救援活動のボランティア募集を知り、少しでも被災犬を助けられればと参加することにしました。

◆災害ボランティアに参加する人へ
私は、現地では全て自己完結が必要と思っただけで行動していません。現地へ行って、被災者のご迷惑になるのは絶対に避けなくてはなりません。また、高速道路は地震があるとすぐに遮断され、一般道が渋滞します。ガソリン消費も激しく予備携行缶も必要です。道路は起伏の激しいところが多く、スピードは控えて走行しないと激しい衝撃を受けます。このように困難な面もありますが、困っている方はたくさんいますので、どのようなかたちでも救援の手を差し伸べれば、多くの方が救われると思います。

旭市災害ボランティアセンターで受付後、災害ボランティアについての説明や注意事項を受けました。その後5人一組のグループを作り、海岸からわずか100mほどの依頼主の自宅へ。車庫や倉庫に津波で入り込んだ土砂をスコップですくって、一輪車で海岸まで運んで捨てる作業を手伝いました。依頼主のご家族3人とボランティア5人で4時間程作業をし、何とか土砂を片付けることができました。

◆活動のきっかけ
もともとボランティアには興味があり、夏休みはごみゼロ運動などに参加していました。大震災が起き、春休み中で時間もあつたので、何か力になればと思ひ災害ボランティアに

◆活動内容
3月末より仙台・福島・茨城にて愛犬の救援活動に参加中



澤田石 朋洋さん
(58歳会社員・長浦駅前在住)

あるNPO法人が、被災地での愛犬の一時預かりや愛犬のみの搬送などの救援活動を行っている。被災地では、被災犬の救出活動に参加中

◆活動のきっかけ
避難所を回って依頼主とお話すると、犬を愛しているながら離れる辛さがひしひしと伝わってきます。仙台のある方は自宅が津波にあつたのですが、その直前に犬が急に外に出ると騒いだので、ご夫婦と5頭の犬を2台の車に分乗して逃げ、結局は奥様と2頭の犬だけ助かったそうです。「自分だけでも助かったのはこの犬のおかげです」とおっしゃっていました。

◆活動のきっかけ
被災地では、被災犬の救出活動に参加中

ボランティア募集

申込・問合せ
ボランティアセンター ☎63-3988

急募! 移送サービスでの運転または付添ボランティア

社会福祉協議会では、公共交通機関で病院などに行くことが難しい高齢者や障がいを持っている方を、自宅から病院などに送迎するサービスを行っています。

活動日時 平日の午前9時~午後4時のうち3~4時間程度(主に午前中)

*月に1~2回の活動です。ご都合を伺い調整いたします。

活動内容・条件

◇運転ボランティア...利用者の送迎(社会福祉協議会の車両を使用)。運転免許取得後3年以上経過している方

*事前に実務教習を受けてからの活動となり、次回は6月に予定しております。

◇付添ボランティア...利用者の付き添い。性別・資格は問いません。

募集期限 5月25日(水)

「いきいきクラブ」での体操補助ボランティア

いきいきクラブは、脳卒中等で身体に何らかの障がいを抱えた方が、機能回復のための体操をしている自主グループです。体操の補助等をしてくださるボランティアを求めています。

活動日 毎週金曜日 午後1時~2時30分 ※月1回からOKです。

場所 健康づくり支援センター(ガウランド)

募集人数 若干名

収集ボランティアにご協力ありがとうございました(ペットボトルキャップ・使用済み切手などの寄贈)

平成23年2月1日~3月31日(順不同・敬称略)

- 舞浜ビジネスフラワーセンター 尾張屋木更津店 八ツ手G 蔵波台 つくも会 日機装株式会社京葉営業所 根形中学校 長浦駅前5丁目自治会 県営ゆうしん会 昭和小学校4年生 東京都千葉福祉園 高石俊男 松田トメ子 大塚ユリ子 中友忠 杉岡純子 多田果澄 鴨川重実 高山洋子 小原建明 村中富子 小山良巳 森茂美 長崎正光 神垣旭孝 日笠良子 犬飼トラヨ 後出映子 北村幹夫 長嶋忠雄 小野寺さち子 石渡美紀子 佐藤洋子 太田時子 佐久山武夫 三股道子 鈴木登 松崎幸子 匿名10名

▶皆様から寄せられた収集物は、社会福祉協議会や福祉団体、環境団体の活動に役立てられます。

お知らせ

スペシャルオリンピックス説明会

スペシャルオリンピックとは、知的障がいのある人たちに様々なスポーツトレーニングと競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織です。袖ヶ浦市では陸上、卓球、フロアホッケー、ボウリング(富津市)を行っています。スポーツが好きな方、ボランティアに興味がある方、参加してみたい方(6歳以上で知的障がいのあ

る方)、ぜひ説明会にご参加ください。
日時 6月19日(日) 午後1時30分~3時30分(受付午後1時~)
場所 袖ヶ浦市民会館 2階会議室
問合せ スペシャルオリンピックス(山崎) ☎62-3476

再生プロジェクトに参加しませんか

竹林と里山の道の再生を図りながら、困っている人たちに喜ばれるものを作りたい。知恵と汗を出していただける方を歓迎します。

日時 6月3日(金)~6月19日(日) 各日午前9時~12時

集合場所 浜宿団地自治会館

作業内容 竹の日用品づくり、車いすが通れる道づくり

持ち物 のこぎり、なた、手袋など

問合せ 里山を歩く会(若本) ☎63-9804

おしゃべりサロン「ひびき」

日時 5月27日(金)・6月24日(金) 午後1時30分~3時30分
場所 老人福祉会館1階和室(袖ヶ浦公園内)
参加費 100円(お茶代)
主催 ボランティアグループ「ひびき」
問合せ ボランティアセンター ☎63-3988

のぞみ野おひさまくらぶ

のぞみ野おひさまくらぶでは、月1回、楽しくおしゃべりしながらお散歩をしています。

日時 6月5日(日)午前9時~10時 ※毎月第1日曜日に実施
集合場所 元主婦の店のぞみ野店前
問合せ のぞみ野おひさまくらぶ(板垣) ☎FAX 63-1718